

# 平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	39	事業名	し尿処理場運転管理業務委託料		事業の性質別	義務的経費	区分			
予算事項名	大事項	し尿前処理施設維持運営費		中事項	し尿処理場運転管理業務委託料		部課名	環境部日乃出クリーンセンター		
事業開始年度	昭和 37 年度	根拠法令等	あり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律・政令・省令名(廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 下水道法等) <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等( ) <input type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等( )					電話番号	56-3258

## 1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p><b>【目的】</b> 市内で生ずるし尿および浄化槽汚泥について、し尿処理場において夾雑物除去等の処理を実施し、適正な中間処理をする。</p> <p><b>【必要性】</b> 廃棄物処理法により、市内で生ずる一般廃棄物については、市が生活環境の保全上支障が生じないうちに収集・運搬および処分をしなければならないことから、し尿および浄化槽汚泥を同法や悪臭防止法等の各基準を遵守した適正な中間処理するために設置したし尿処理場について適切、効率的な維持管理が必要である。</p>
内容	<p>し尿処理場の運転管理業務については、平成25年度まで市職員を配置し業務を実施してきたが、アウトソーシング推進の考え方に基づき、平成26年度から委託化を図ったものである。委託している業務の内容は、次のとおりである。</p> <p>①運転監視業務(し尿計量室, し尿前処理施設, し尿一次処理施設)②保守管理業務③設備機器整備業務④業務報告および事務業務⑤その他業務</p>

## 2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		0	0	14,256	14,938	14,938	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源		0	0	14,256	14,938	14,938	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.26 1,895	人工 0.26 1,895	人工 0.26 1,953	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	0	0	1,895	1,895	1,953	0
総事業費計(A+B)		0	0	16,151	16,833	16,891	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
し尿処理量	kL	54,338	53,468	51,650	
浄化槽汚泥処理量	kL	4,363	4,221	4,590	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	受け入れし尿等の全量処理 し尿等処理における各種排出基準の達成
------	------------------------------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	し尿処理場の適切な運転管理により、年間を通して各種基準を遵守し、安定かつ適正なし尿処理を行っている。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目		評価内容	評価内容の説明	評価項目		評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	評価対象外	一般廃棄物の処理については、市に処理責任があり、また、市民生活に必要な不可欠なものである。	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	本事業を外部委託したことにより、コストの節減が図られている。
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当			将来コスト増減見込み	現在と変わらない	
			受益者負担の適正度		評価対象外		
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	受け入れし尿等の全量を安定かつ適正に処理している。	執行方法	外部委託の可能性	すでに実施	本事業については、既に外部委託を実施しており、業務委託する業者決定についても、複数業者による競争入札を実施しているため、さらなる改善は難しい。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適			実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	
評価結果から明らかになった課題事項など		し尿処理場の運転管理に係る業務については、現在行っている手法が最善なものであると考えるが、今後において、受け入れし尿等の量が大幅に減少した際には、処理方式の変更などを含め、業務内容を見直すことでさらにコストを削減する余地はある。					

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 旧函館市の一部および東部4支所管内の大部分の地域では、下水道を整備する計画がないため、今後においてもし尿等の処理が必要であり現行どおり継続する。
	当面現状維持	(経費について) 現在の処理方式や業務内容を継続する限り、さらなる経費節減は不可能である。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	○処理能力が同等規模の他都市の委託料について(平成25年度14都市調査) 道内(札幌市:18,900千円,旭川市:19,950千円) 道外12都市(最高額:145,950千円(東京23区清掃一部事務組合),最低額:17,000千円(静岡県掛川市),平均額:53,327千円)
----------------------------	---